



平成30年4月15日 第808号

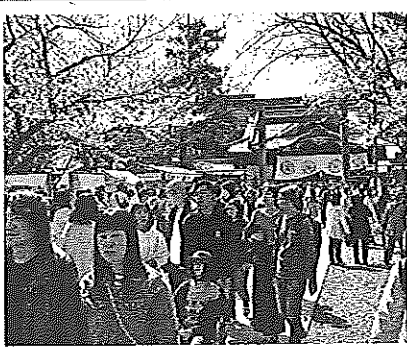
一般財団法人 日本遺族会 千代田区千代田一丁目九段南一丁目 電話 03-3261-5521

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

# 30年度 政府予算成立 本会の要望概ね予算化

平成三十年度政府予算は、三月二十八日の参議院本会議において成立した。本会が昨年十二月、地元選出の自民党所属国会議員に対して行った陳情運動の結果、公務扶助料等の増え償きをはじめとする戦没者遺族の処遇改善や、遺骨収集事業関係費及び戦没者遺児による慰霊友好親善事業など概ね要望どおり予算化された。

本会関係では、昨年末の陳情運動を行った戦没者遺族の処遇改善項目に類しての支給が決まった。遺骨収集事業等では、「靖国島遺骨収集事業」を展開したことや、自民党所属国会議員の支援により概ね要望に沿った予算が得られた。戦没者遺族の処遇改善では、恩給手続関係におけ



靖国神社に「春到来」



今年も「同期の桜」歌う会を4月7日に開催

## 平成29年度 本会事業実施一覧

本会主催戦跡慰霊巡拝	参加者	遺骨収集帰還事業	派遣者	収容数
マリアナ諸島 1地域 1回	6	硫黄島 (収容)	11	17
戦没者遺児による慰霊友好親善事業	参加者	旧ソ連・ハリロフスク地方 (収容)	4	66
旧満州	19	旧ソ連・アムール州 (収容)	4	24
旧ソ連	21	旧ソ連・クラスノヤルスク地方 (収容)	4	27
モンゴル	5	旧ソ連・ザバイカル地方 (収容)	2	92
西部ニューギニア	21	トラック諸島 (収容)	2	-
東部ニューギニア (1次)	17	ソロモン諸島 (収容)	3	137
東部ニューギニア (2次)	10	インド (収容)	1	3
トラック・パラオ諸島	18	樺太・占守島 (収容)	3	18
マリアナ諸島	21	マリアナ諸島 (収容)	2	39
北ボルネオ・マレー半島	18	東部ニューギニア (収容)	5	83
フィリピン (1次)	67	パラオ諸島 (収容)	2	79
フィリピン (2次)	77	ミャンマー (収容)	4	12
ソロモン諸島	18	ビスマーク・ソロモン諸島 (収容)	4	315
ミャンマー (1次)	48	硫黄島 (捐助立会)	14	-
ミャンマー (2次)	33	ミャンマー (調査)	3	-
台湾・パシフィック	17	マリアナ諸島 (調査)	3	-
中国	29	ビスマーク・ソロモン諸島 (調査)	4	-
西部ニューギニア (特定地域)	23	東部ニューギニア (調査)	4	-
ビスマーク諸島 (特定地域)	38	11地域	79	912
マーシャル・ギルバート諸島 (特定地域)	10	海外民間設立慰霊碑修葺等事業	派遣者	
19地域 19回	510	ロシア、フィリピン 2地域 3回	6	
本会創立70周年記念事業「アメリカ財協協賛等視察」	参加者	樺太・千島戦没者慰霊碑維持管理事業	派遣者	
ホノルル、ワシントンDC	34	樺太 1地域 1回	2	
		昭和館	入館・来場者	462,249
		巡回特別企画展 (鹿児島県)		13,682
		巡回特別企画展 (高知県)		9,145

る公務扶助料等は増え償きとなり、扶養加給も同等、遺骨鑑定体制の強化として一億九千三百万円等がついた。戦没者慰霊事業等では、本会が厚生労働省から補助を受け実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」は、十七地域(実施地域二面に掲載)に延べ九百八十九名派遣する事業費として二億五千九百万円がついた。八月十五日の「全国戦没者追悼式」が新規模で盛り込まれることとなった。

厚生労働省で、四月一日付で人事異動があった。本会に関係のある方は次のとおり。▼社会・援護局 振護・業務課 調査資料 室長 岡田 裕之氏

### 日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年(孫・ひ孫)の皆様も是非申し込みを。

年間購読料/1,560円 (1年間 12回 税金・送料込)

お申込み 日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

### 謹 哀 悼

美藤 廣氏 日本遺族会 元議員 香川県遺族連合会副会長。三月九日、逝去された。八十二歳。葬儀は、協同セレモニイ会館観音寺で行われた。喪主は長男 安氏。

### 声なき声

九段の桜は例年より9日早く、3月17日に開花。今年も晴天が続く4月初めまで長く人々を楽しませる。また、暮れに近づくにつれて、人々の心は静かになり、春の訪れを待ち望む。この世にいない心も、心の中には常に幼い日の思い出、懐かしさが溢れている。▼そんな中、天皇皇后両陛下が沖縄を訪問された。退位まで1年余りで、陛下は11回目の訪問。皇太子時代の初めの訪問では、テロに狙われる危険がある中、「ひめゆりの塔」で拝礼その後、後継として火災が飛んで来て、先づ炎が広がった。しかしその場に踏み留まり全員が安否を気遣ったという。その覚悟には圧倒された。▼陛下は過去10回必ず最初に慰霊に向かわれた。今回もまた初日に国立沖縄戦没者墓苑で時間をかけて白菊の花束を供え、拝礼された。感謝である。▼戦後70年、硫黄島で日米合同の慰霊追悼式が営まれ、両国の退役軍人や遺族等230人が出席した。一方、茨城では硫黄島で32歳で戦死した方の遺品が遺骨収集団により遺族である長男の元に返還された。父親の身分のようである。一足遅れで茨城北部の桜は今頃が満開か？おぼろげな夕桜をめでるのもまた供養か。(A)

靖国神社 永代神楽祭係  
〒102-8246 東京都千代田区九段北3-1-1  
電話 (03)3261-8326(代表)  
FAX (03)3261-8320(直通)

## 御祭神の御遺徳を 子々孫々に承継するために 永代神楽祭の御案内

靖国神社では、ゆかり深い御祭神の奉慰のため永代神楽祭(命日忌)を日々行っております。この祭典は、一年一度、御遺族に御参列戴き、御本殿にて御祭神の御遺徳を子々孫々に承継するために、皆様のお申し込みをお待ち申し上げております。

一 度お申し込み戴きますと、永代にわたり祭典を行います。

御祭神の御遺徳を子々孫々に承継するために、皆様のお申し込みをお待ち申し上げております。

【祭費】 金一〇万円から (御祭神一柱につき)

【神楽奉告日】 一年に一度 (御命日または御希望の日をお申し込み時に御指定戴きます)

◆毎年、事前に御案内状をお送りし御参列の有無や人数を伺います。

◆家族・縁故の方々も一緒に御参列できます。(代理の方の御参列も可)

◆詳しくはパンフレットを御請求下さい。

# 一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族支援など様々な活動のために賛助金を募っております。本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行って来たところでございますが、東日本大震災により収益部門であった九段会館が閉館したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集等各種事業の継続が大変厳しい状況にあります。本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者遺族並びに本紙ご購読者、本会の諸事業にご賛同される皆様方より一層のご支援・ご協力を仰がなければなりません。

本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えさせていただきます。

## 賛助金のお振込みは

- 郵便振替 00130-2-694929
- みずほ銀行 九段支店 普通預金 0980930
- 口座名はいずれも「一般財団法人日本遺族会(ザイ)ニホンソクカイ」

※賛助金につきましては、誠に勝手ではございますが、お一人様1万円程度からお願いしております。

※ご不明な点は本会事務局(電話03-3261-5521)までお問い合わせ願います

# 三地域を相次いで実施 パラオ等から406柱奉還

JARRWC

日本戦没者遺骨収集推進協会(ＪＡＲＲＷＣ)はパラオ諸島、ミャンマー、ピスマーク諸島の遺骨収集を相次いで派遣した。本会からもそれぞれの派遣団に遺族が参加協力し、各地域で収容作業に従事した。所期の目的を終えて帰国した派遣団は、千鳥ヶ洞戦没者墓苑での引渡式で、関係遺族が見守る中、厚生労働省へと遺骨を引き渡した。

## パラオ諸島

パラオ諸島戦没者遺骨収集は、二月二十四日から三月八日の期間で実施

され、本会からは二人を派遣した。

派遣団はベリリュウ島の中央高地(アラダイノスリッジ)ノルムフ

ロコル山、北部高地(水戸山・ヒル・ロー/アミアンガル山)、ホワイトビーチ周辺等の地表及び洞窟内を調査し、遺骨の発見に努めた。また、平成二十九年現地調査派遣で既に収容されベリリュウ島内の「みたま塔」において、焼骨式並びに追悼式を執り行い、戦没者の哀福を祈った。

## 遺骨収集帰還事業

### 参加者募集 HPへも掲載

日本遺族会では、平成三十年度戦没者遺骨収集帰還事業への参加希望者の事前登録を行っていき、戦没者の遺見をはじめ、孫、曾孫、甥、姪等の青年部も広く登録願いたい。

申込登録要項は次のとおり  
実施予定地域  
【南方地域等での遺骨収集】  
①フィリピン ②東部ニューギニア ③ピスマーク・ソロモン諸島  
④アンタルピル島・ガダルカナル島等 ⑤インドネシア ⑥パラオ諸島  
⑦マリアナ諸島(グアム島・北マリアナ諸島)

日本から同行した慰霊事業人類学専門員が鑑定し、七十九柱を確認した。三月五日、派遣団はベリリュウ島内の「みたま塔」において、焼骨式並びに追悼式を執り行い、戦没者の哀福を祈った。



洞窟内で遺骨の収容に従事する団員  
=3月4日、ベリリュウ島で

ミャンマー  
ミャンマー戦没者遺骨収集は、三月七日から十二日の期間で実施され、本会から四人を派遣し、二つの班に分かれて行動し、一班はサ

びに遺骨の提出が義務付けられており、参加の有無については、遺骨収集事業を主催する日本戦没者遺骨収集推進協会の判断に従う。

地域名	派遣期間
1 ハバロフスク地方(第1次)	7月24(火)~8月8日(水)
2 ザバイカル地方	7月24(火)~8月8日(水)
3 クラスノヤルスク地方	8月7日(火)~8月22日(水)
4 プリヤート共和国	8月7日(火)~8月22日(水)
5 沿海地方	8月28日(火)~9月12日(水)
6 ハバロフスク地方(第2次)	8月28日(火)~9月12日(水)

ガイン管区カレミョー地区及びカレワ地区で収容作業に従事し、カレワ地区タジー村で一柱を収容し、既に過去の現地調査で収容されていた遺骨を合わせて十一柱を確認した。二班は、シヤン州ゴン地区で、地元住民が戦死した日本兵を棺桶に埋葬したという証言に基づき、洞窟内から約四十柱を収容したが、現地住民の遺骨が一種混在していることが判明したため、今回は遺骨を持ち帰ることを断念し、洞窟近くに保管場所を設置し安置した。

三月二十日、ヤンゴンで合流した両班は、北オ

カラムパ日本人墓地の「ピルマ平和記念碑」前にて追悼式を挙行了した。  
ピスマーク諸島  
ピスマーク諸島戦没者遺骨収集は、三月七日から二十二日の期間で実施され、本会から四人を派遣した。  
派遣団は、二つの班に分かれ行動し、一班は車両でアラワ、ブイン方面に入り、アラワ地区のクアン村で二柱、マライ村で二柱を収容したが、ブイン地区では予定した場所での地権者からの許可が得られず今回は試掘を断念した。二班はボートでタロキナ地区に入

第85回自民党定期大会  
運動方針に「靖国参拝」を明記  
自由民主党は三月二十五日、東京都内のホテルで第八十五回定期大会を開催した。



第85回定期大会で演説する安倍晋三自由民主党総裁  
=3月25日、都内ホテルで



追悼式で献花する団員=3月19日、ソファノ島で

3・11  
慰霊祭を肅行  
東日本大震災から七年目を迎えた三月十一日、九段会館大ホールで九段会館慰霊祭が挙

り、現地住民の協力を得た遺骨を含めて三二五柱をソファノ島で焼骨した。また、三月十九日は、過去の現地調査で既に収容され安置されていた哀福の誠を捧げた。

▼第14回理事会 2月22日 詳細は3月号に記事として掲載。  
▼事務局局長会議 2月23日 第14回理事会の決定事項について。

好問 友訪 霊善 慰親

# 亡き父の冥福祈る 相次いで四地域を実施

日本遺族会では、戦没者遺児による慰霊友好親善事業のミャンマー、マレーシア、フィリピン、中国を実施した。全国からの戦没者遺児が四地域に総勢一四九人が参加した。参加者は亡き父の眠る地において、心ゆくまでの慰霊追悼を行うとともに小学校や病院等を訪問、また植林活動等の友好親善を行った。

## ミャンマー

水澤庄一郎本会常務理事(宮城遺族連合遺族会会長)を総括団長とするミャンマー慰霊友好親善訪問団は二月二十六日東京・九段で結団式を行い、その後、靖国神社に昇殿参拝、翌日ミャンマーの地歩を印した。一行は、翌日から二班に分かれ、A班は、ピヤボン、ペグ、トング、ベネゴン、ブローム等、B班は、カレミョ、マングレ、メークテラ、バガン等で亡き父の慰霊追悼を行った。

## マレーシア

好親善を深めた。三月五日、ヤンゴン、北オカラッパの「ピルマ平和記念碑」にて、全戦没者追悼式を挙行、英霊に慰霊の誠を尽くした。一行は、所期の目的を達成し、七日無事帰国した。

## フィリピン

式を挙行し、英霊に慰霊と追悼の誠を捧げた。十九日、所期の目的を果たした一行は、全員無事帰国した。

## 中国

一行は二十日、所期の目的を果たし、無事帰国した。終戦の地と思われる街や旧兵營地、病院等の地を訪れ、手を合わせた。翌三十日、所期の目的を果たした一行は無事に帰国した。

## 中国



ベグ小学校を訪問し、用品を寄贈。3月1日



ウオッセ島で慰霊祭を挙行し、亡き父に語りかける団員。3月15日



サンマテイオの病院を訪問し、車椅子を寄贈。3月15日

## 慰霊友好親善事業 30年度参加者を募集

募集要項は次のとおり  
▼時期及び地域 実施地域  
▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局

▼参加資格 戦没者の遺児。平成十九年度参加者を除き、複数回の応募が出来る。  
▼その他 集合場所は東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所からの交通機関は、自身の手配となる。  
また、移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続手数料等は個人負担となる。  
▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。  
参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目の全てに記入を要するの事で、事前に申込用紙を取り寄せていただき、記入項目に不明な点(戦没者の部隊名等)があれば各遺族会に相談し条件を満たしたうえで提出願いたい。なお、申込多数の場合は優先となる。  
また、巡拝地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期または中止となる場合があるので、予めご了承願いたい。

## 平成30年度戦没者遺児による慰霊友好親善事業概要

実施地域		
1	旧満洲	平成30年8月上旬 40人
2	旧ソ連	平成30年8月下旬 40人
3	ピスマーク諸島	平成30年9月上旬 40人
4	東部ニューギニア	平成30年9月上旬 42人
5	西部ニューギニア	平成30年9月中旬 40人
6	北ボルネオ・マレー半島	平成30年9月下旬 20人
7	マリアナ諸島	平成30年10月中旬 40人
8	トラック・パラオ諸島	平成30年10月下旬 40人
9	フィリピン(1次)	平成30年11月上旬 120人
10	ソロモン諸島	平成30年11月下旬 20人
11	ミャンマー・タイ	平成30年11月下旬 80人
12	台湾・パシフィック	平成31年1月中旬 30人
13	マレーシア・ギルバート諸島	平成31年3月中旬 40人
14	フィリピン(2次)	平成31年3月中旬 120人
15	中国	平成31年3月下旬 80人

実施地域		
1	西部ニューギニア	平成31年2月上旬 36人
2	東部ニューギニア	平成31年2月中旬 36人
3	ミャンマー	平成31年2月下旬 36人

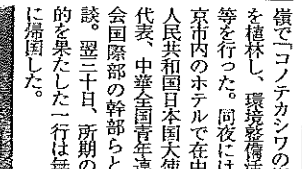
### 本会への 賛助金のお礼

本紙(二面)でもお願している本会への賛助金につきまして、ご賛同いただきまして左記の通りです。なお、大変盛況ではございますが都道府県別にさせていただきます。

川名部洋、山下裕子、宮崎達一、宮崎シゲト、小田中ヨシ子、石川シゲ子、田中実知子、前村シエ子、花井昭義、寺尾操、山元勝、藤村和弘、梅野健、野見山正美、占部洋子、豊田智恵子、元田邦子、峯村宏子、田中繁美、金子清徳、小林百合子、阿部光代、三浦慶三、打木昇、林康雄、小國正子、谷川千加子、東郷俊子、森義行、福山智子、大西早苗、寺坂信志、豊信夫、大木章、谷忠義、大橋隆、坂本昭夫、林一之、奥出洋子、島山輝男、大西陽子、近藤隆二、佐藤隆一、岸本和博、大山節子、野村幸子、奥田正徳、鈴木清五郎、佐藤正信、松本雅之、皆川正文、辻征男、永田みゆき、新郷勝英、宮崎七三子、堀江優、杉山英夫、尾崎政雄、波形功、田林修一、田林

A班はルソン島(イボ、ワウ・モントラルバン、ボソボン・テラサ・サンタマリア・モンテナルバ)、コレヒドール島等、B班はルソン島(クラーク、ポトラン、南サンフェルナンド、マニラ市内、キャビテ、パイタガン、サント・マクスエエンカ)で、C班はルソン島(クラーク、ラブラドル、サンフランシスコ、パギオ、パリタオ、キヤンガン、バレット、サンミゲル)で、D班はパナイ島(イロイロ東北方海岸、西南方海岸)、ネグロス島(バコ、ロドス、セブ島)で、E班は、島東部(マニラ、レイテ島(マハンラック、ピリアバ、アルベル、ドロレス、ドラック、アラウエン)で、慰霊祭を行い、亡き父に積年の想いを語り、各班は訪問先の小学校へ学用品、衣類等を贈るとともに、校庭に記念植樹を行った。

一行は二十日、所期の目的を果たし、無事帰国した。終戦の地と思われる街や旧兵營地、病院等の地を訪れ、手を合わせた。翌三十日、所期の目的を果たした一行は無事に帰国した。



万里の長城付近で植林。3月20日

本会事業参加者の皆様へ  
本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報(個人情報)の保護に努め、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針に基づき、本会ではホームページを参照されたい。本会にお問い合わせください。

# 沖縄戦跡慰霊巡拝

## 関係遺族の参加者を募集

日本遺族会は、本会主催の沖縄戦跡慰霊巡拝の実施を予定している。この慰霊巡拝は、太平洋戦争の末期、住民を巻き込んだ激しい地上戦となり、多くの尊い命が失われた沖縄の地を巡り、戦没者の冥福と恒久平和を祈念することを目的としている。沖縄及び周辺海域で肉親を亡くされた戦没者の遺族であればなたでも参加できる。

本会では、沖縄戦跡慰霊巡拝の参加者を募集し、

募集要項は次のとおり 一日十七の四泊五日を予定

▼実施時期 十月二十三日(火)～十一月十七日(日)

▼参加者は、本会が指定した沖縄のホテルに集合し、

▼募集人員 四十人

▼申込締切 八月三十一日(金)

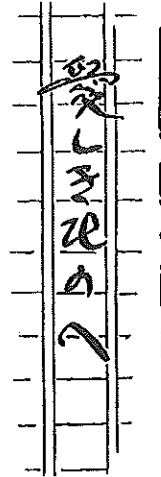
▼参加資格 沖縄及び周辺海域で肉親を亡くされた戦没者の遺族(妻、甥、姪等)

▼参加費用 7万円(8万円程度)

▼申込方法 申込は在都道府県庁で事前確認が必要となる。

▼申込書 申込は在都道府県庁で事前確認が必要となる。

▼申込書 申込は在都道府県庁で事前確認が必要となる。



### 遺言

海軍少尉 上田 兵二

昭和二十年四月十六日  
沖縄県那覇市にて戦死  
兵隊長海軍少尉 上田 兵二

絶筆 出撃寸前  
謹呈

小生いよ／＼ 出撃突入す  
遺品送り方頼みし故  
すく着く事と存じます  
電替も送り返す様お頼み致しました  
遺品喜んでお受け取り下さい  
公電があれば赤飯で祝つてくれ  
乱筆にて

昭和二十年四月二日

海軍一等飛行兵曹

上田 兵二

〔原文のまま〕  
愛しきものへ  
〔平成三十年四月十四日 本社社務部宛〕

主催 本会

合し、事業終了後、沖縄で解散となる。

▼参加費用 7万円(8万円程度)

▼申込締切 八月三十一日(金)

▼参加資格 沖縄及び周辺海域で肉親を亡くされた戦没者の遺族(妻、甥、姪等)

▼参加費用 7万円(8万円程度)

▼申込方法 申込は在都道府県庁で事前確認が必要となる。

▼申込書 申込は在都道府県庁で事前確認が必要となる。

▼申込書 申込は在都道府県庁で事前確認が必要となる。

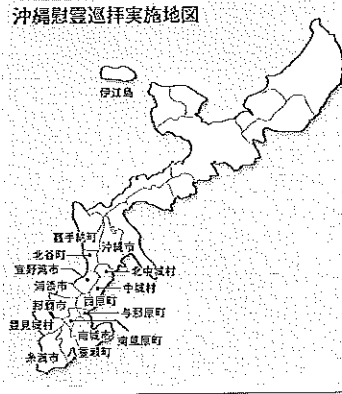
## 第57回沖縄平和祈願 慰霊大行進のお知らせ

日本遺族会では、六月二十三日(日)に沖縄県遺族連合会と共催で「第五十七回沖縄平和祈願慰霊大行進」を実施する。この事業は、先の大戦で、一般住民を含む多くの尊い命が失われた沖縄戦を振り返り、平和を祈願するものである。

全戦域の戦没者遺族が参加可能であり、家族で参加も歓迎する。特に



第56回平和祈願慰霊大行進 = 平成29年6月23日



▼申込方法 申込は在都道府県庁で事前確認が必要となる。

▼申込書 申込は在都道府県庁で事前確認が必要となる。

▼申込書 申込は在都道府県庁で事前確認が必要となる。

▼申込書 申込は在都道府県庁で事前確認が必要となる。

▼申込書 申込は在都道府県庁で事前確認が必要となる。

▼申込書 申込は在都道府県庁で事前確認が必要となる。

## 3県で日章旗返還 OBONソサエティ

戦没者の遺品の返還活動は無償で行っているOBONソサエティから本会に照会があった元米兵が戦地から持ち帰った日章旗について、愛知県、香川県、鹿児島県の支部遺族会で調査した結果、それぞれ返還が判明した。愛知県では、フィリピンで戦死した稲沢市出身の寺町文治さんの日章旗が返還された。三月十一日、鹿児島県鹿屋市に阿世知さんの長男、豊さんと長女の寺町清子さんが出席し、多くの遺族会関係者が見守る中、無事日章旗が引き渡された。清子さんは「母から、父の戦死の知らせは通知だけだったと聞いた。たった一つの形見ができて本当にうれし」と語った。

香川県では、鹿児島県徳之島沖で戦死した丸亀市出身の亀井忠一さんの遺族が判明し、三月六日、同市保健福祉センターで

返還式があり、亀井さんの姪の西川佳子さんに日章旗が返還された。旗を受け取った佳子さんは、「奇跡のような出来事」と感激し、「祖父父母らもまつる前に、帰国つてきたくと報告し、大切に保管したい」と語った。

鹿児島県では、インドネシアのアクデ島で戦死した西之妻市出身の阿世知さんの日章旗が遺族に返還された。三月十一日、鹿児島県鹿屋市に阿世知さんの長男、豊さんと長女の寺町清子さんが出席し、多くの遺族会関係者が見守る中、無事日章旗が引き渡された。清子さんは「母から、父の戦死の知らせは通知だけだったと聞いた。たった一つの形見ができて本当にうれし」と語った。



日章旗を受け取った阿世知さんと遺族と尾辻秀久鹿児島県遺族連合会会長(本会名誉顧問) = 3月11日、鹿児島県鹿屋市にて

## 「九段短歌」6月再開予定

平成28年10月号から、長らく休載しておりました「九段短歌」を6月号より再開する予定です。新刊に、安元百合子さんを選者に迎える準備を進めておきますので、読者の皆様のご協力を本誌宛にお願いいたします。

◎作品には必ず住所氏名、郵便番号を明記してください。

## 作品をお寄せください

平成28年10月号から、長らく休載しておりました「九段短歌」を6月号より再開する予定です。新刊に、安元百合子さんを選者に迎える準備を進めておきますので、読者の皆様のご協力を本誌宛にお願いいたします。

◎作品には必ず住所氏名、郵便番号を明記してください。

- ▼茨城県 2月20日 茨城県遺族連合会第17回シンポジウム(58人)
- ▼栃木県 3月3日 平成29年度栃木県遺族連合会女性部主催研修会(300人)
- ▼香川県 3月3日 平成29年度香川県遺族連合会女性部主催研修会(300人)
- ▼愛知県 3月24日 平成29年度愛知県遺族連合会女性部主催研修会(300人)
- ▼富山県 3月9日 10日 平成29年度富山県遺族会役員合同研修会(90人)
- ▼京都府 3月17日 京都府遺族会女性部主催研修会(65人)
- ▼愛媛県 3月24日 平成29年度愛媛県遺族連合会女性部主催研修会(300人)